

話題を掘る(3)

学生運動大会で  
県下へ初の優勝旗

旧制中学をふくむ学生全国運動競技大会の優勝旗を、高知県に初めて迎えたのは、(いつ) (何校) となると、博識の市民でも正解できる人は満天の星の一つ...と思うのは非礼の限りであろうか。

優勝旗が開いてないのでアザインはわからないが、(優勝旗である) という感じが多分に持てるのでは...。和服姿の選手たちの顔は純真そのものだが、明治の学生らしい重厚さをたただよわせている。

解答を出そう。正解は、明治三十七年八月・興立第一中等学校追手前高の前身「琵琶湖で行われた競艇が最初」とのことである。そのときの栄光の優勝旗と選手七人の記念写真が、岡豊町小蓮の和田知久さん宅にあった。写真で



初めて土佐に迎えた全国学生競技の優勝旗・人物(中列右)は公治さん

は、優勝旗が開いてないのでアザインはわからないが、(優勝旗である) という感じが多分に持てるのでは...。和服姿の選手たちの顔は純真そのものだが、明治の学生らしい重厚さをたただよわせている。

選手の一入・和田公治(まさじ)さんは知久さんの実父。「追手前高等学校百年史」に収録した選手氏名で、和田公治さんの「和」は、別の字に誤植されている、と聞く。公治さんは一中卒業、早稲田大学予科へ。ところが、長兄(國

會議員)の友人でアメリカで活躍中の人に呼ばれテキサスへ。ここで持参した大金(当時の二千円)を投じ農場主に。さらにカリフォルニアへ移ったが、実家のつごうから在米十年で呼びもどされた。

帰国後、人生に悩み精神的苦境地を開こうと渡鮮(今の韓国へ)、十年後に帰国。その後は孤高の日

医療相談コーナー  
Q & A

Q 五年前から、足のみずむしで悩んでいます。ぬり薬で一時よくなっていたのですが、止めるとまたでてきます。ふだん注意する点を教えてください。(35歳・男)

A 「みずむし」は、皮膚糸状菌によっておこる病気で、足にできる場合が多いのですが、

「みずむし」

「みずむし」は、皮膚糸状菌によっておこる病気で、足にできる場合が多いのですが、

「みずむし」には、普通三つの型があります。第一は、足底などに、痒みを伴った小さい水ぶくれができます。

手にもできます。以前は、夏だけの病気でしたが、最近は、冬にもめずらしくありません。これは、暖房の普及など生活環境の改善によるものでしょう。

清潔と乾燥が大切です。入浴の時など、石けんでよく洗って、後はよくふいて乾かすことです。

今月の納税  
県・市民税 (1期分)  
納期限は 6月30日(火)です

- 第116回正解者発表(敬称略)  
(応募総数45通)
- いたえ (2人) (2)
  - 特賞・千円 三人
  - 乾直美 (比江)
  - 立石寿枝子 (東崎)
  - 半田國夫 (陣山)
  - 残念賞・記念品 五人
  - 植田ともい (岡豊町) 田中真由美 (東崎) 黒木真理 (後免町) 中山慶子 (大地) 唐若夕子 (領石)

常をすし、昭和三十年他界した。生年(しようねん)を七十歳と刻む墓碑は同家の上・先登(せんえい)の地にあるが、精神の荒野にあったころのロマンは、語ってくれない。

南国市文化財審議委員 三谷勇喜



ご家庭で話し合せて教えてください。答えは、この広報に出ています。

■ もんだい・六月七日は、南国市の〇〇〇の日です。協力して明るく美しい町にしましょう。

■ しめきり・六月十五日

■ おくり先・〒783 南国市大浦甲一三〇一 南国市役所内 広報委員会親子クイズ係

■ 答えのハガキには必ず、住所・氏名・年齢・職業を書いてください。

■ 賞品・特賞千円 三人、残念賞(記念品) 五人

これが破れて、皮膚がはがれ落ちそうにもなります。

第二は、足の指の間が、白く軟かくなり、時には、ぐちゃぐちゃします。また、二次感染を起して赤くはれ痛んで、ソケイ部(股のつけね)のリンパ節がはれることもありま。

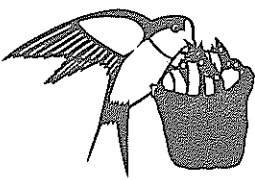
第三は、足底の皮膚全体が硬くなり、皮膚がはがれ落ちそうになります。痒みはあまりありません。爪の「みずむし」は、爪が白く濁って厚くなり、変形してきます。

この場合は、大抵、足または手に「みずむし」を伴っています。症状が「みずむし」に似ている病気には湿疹、汗疱(かんほう)などがあります。いずれも、皮膚糸状菌を顕微鏡でみとめると、確実に区別ができます。

「みずむし」の治療は、抗白癬剤を使い、そのぬり薬はいろいろありますが、絶対的によいというものはありません。今は副作用の少ない、よい薬が開発されていますが、どの薬でも、かぶれを起したりすることはあります。

「みずむし」でない病気に使うと症状が悪くなりますので注意して下さい。飲み薬もあります。特に、爪の「みずむし」の場合は、飲み薬を長期間使用しなくては効きません。

ふだんの注意としては、手足の



清潔と乾燥が大切です。入浴の時など、石けんでよく洗って、後はよくふいて乾かすことです。

ある大学教授は、「みずむし」は、足を太陽に向けてかさすだけでも治ると言っています。乾燥を保つだけでも治るのです。

くつ下、くつの着用は、なるべく短期間にする。くつ下、肌着はよく洗濯をする。ぬり薬を一日に数回ぬり、それを、完全に治るまで続けることです。少し症状がよくなったからといってめることをやめてはいけません。

◆お気軽に質問を  
この医療相談コーナーへのご質問は、封書かハガキで、市役所内・広報委員会(大浦甲一三〇一)までどうぞ。

市民交通傷害保険  
ただ今受付中!!

「お前も補導センターだよりを見て買いにきたのか」

今年度の加入申込みを受け付けています。申し込み用紙に記入して、保険料(二年で一人四百八十円)を添えて、銀行、農協、市役所へ申し込んで下さい。

交通事故は、また増える傾向にあります。おたくでも、万一に備えて、ぜひご加入下さい。

南国歌壇

葛葉菜種(かきはな)をにじませて  
夜明けやさしき風の立つらし  
大浦 谷本深雪

この冬に荒れたる指のまだ癒へず  
真綿にわれのあやつられぬ  
立田 島田美津子

白瀬(しらかせ)中尉の息女は喜楽の  
師なりき香まじはり返る  
岡豊町 岩村とよき

南国柳壇

五月晴れ沖潮の海泳ぎしと  
新嫁の生電話に聞こゆ  
西島 岡林きよ

友の娘の嫁する春日も過ぎ去りて  
娘に思ひを依する若葉の季節  
立田 清岡照子

南国俳壇

土俵下腹が波うつ勝力士  
酔客に下戸は立つたりすわつたり  
古市 島田八重子

断崖の古梅のつぼみまだ固し  
雨上がり空に突き出す木芽かな  
植田 吉本其梅

小紋揺れ縫い針光る春燈下  
短日やそぼの極り入れ終りたり  
鳴りや斜めによぎる鬼瓦

- 公文政子 (忍冬句会)
- 川村博子 ( )
- 長野扇女 ( )
- 山岡多恵子 (おがたま会)
- 千頭幸美 ( )
- 小笠原芳美 ( )
- 二宮弘代 ( )
- 山本 園 ( )
- 藤平静江 ( )